

<様 式>

金融庁総務企画局市場課 金融・資本市場に係る制度整備についての骨子（案）

意見募集ご担当 御中

**金融・資本市場に係る制度整備についての骨子（案）に係る意見**

提出者名  (企業・団体の場合は部署名 及び担当者名も記入のこと。)	企業の資金調達の円滑化に関する協議会 <a href="http://www.cftaj.org/">http://www.cftaj.org/</a> (担当者：事務局/福田)
住所  (企業・団体の場合は所在地)	〒105-0001 港区虎ノ門 1-5-16 (財) 企業活力研究所 内
電話番号	03-3503-7671
FAX 番号	03-3502-3740
電子メールアドレス	cfta@bpf-f.or.jp

<意見>

提出者名	企業の資金調達の円滑化に関する協議会
題目	社債市場活性化におけるCCPの重要性
【意見の内容】	
i) 項目	CCP機能の整備の中で社債もカバーすること
ii) 意見の詳細	社債市場のあるべき一連の手続き（取引→照合→清算→受渡し）のなかで、市場に備わっていない清算機能を整備・充実させるべきである。
iii) 理由（必要性・妥当性）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社債市場におけるその発行残高（50～60兆円）は対GDP比で約1割。米国のそれは約1/4。</li> <li>・ BIS規制強化等の動きもあり、今後の銀行借入による円滑な資金調達に懸念が生じる中、もう一つの資金調達手段である社債の市場の整備・拡大は、多くの日本企業にとって喫緊の課題である。</li> <li>・ そのなかで、社債市場において欧米並みのインフラを整えることは、当然必要な措置であり、現在、国債や株式には備わっているCCP機能は社債もカバーすべきである。</li> <li>・ 骨子（案）のなかでは、CDSの清算集中について言及している。その値付けに際しては、いわゆる「マーケットプライス」が適用されると考えるが、ベースとなる社債のプライスがなければ、CDSの価格形成に歪みが生じないか懸念する。</li> </ul>
iv) その他参考となる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本証券業協会 「社債市場の活性化に関する懇談会」</li> <li>・ 『証券決済システムのすべて（第2版）』（中島真志、宿輪純一著、東洋経済新報社）－第7章の4.（7）「残された課題」</li> <li>・ 「わが国証券決済システム改革の第二幕」 『週刊 金融財政事情』2009年11月16日号</li> <li>・ 「社債の起債・流通市場の環境整備に係る要望事項」（企業の資金調達の円滑化に関する協議会、H21.3.12）</li> <li>・ 「社債市場拡大のための要望・提言」（企業の資金調達の円滑化に関する協議会、H21.3.18）</li> </ul>